



Advance

令和3年8月3日
尾道市立高西中学校
研究推進部

先日（7月7日）は第3回の校内研究授業、本当にお疲れさまでした。大変に忙しい状況のなか、研究授業を行っていただいた佐藤先生・保手濱先生・脇川先生の努力、みなさんの協力のおかげで、また新たな学びを得ることができました。今回の研究授業で気づけたことの要点を以下にまとめてみます。

『見方・考え方』を意識した単元計画・授業づくりを

今回の研究授業では、理科の「自然の事物・事象を質的・実体的な視点でとらえ、見通しをもって観察や実験を行い、その結果を比較したり、関連付けたり、結果を多面的に考える」や、数学の「事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目してとらえ、論理的、統合的、発展的に考える」など、教科の『見方・考え方』を意識した単元計画・学習課題の設定をしていただきました。

こうした、教科を通して身に着ける『見方・考え方』は、大人になっても生活のなかで生かせるものです。3年間を通して『見方・考え方』を生徒に習得してもらうために、単元計画や授業づくりをする前に『見方・考え方』を確認し、その単元・授業で身につけさせたい知識・技能に、『見方・考え方』を使うことを通してたどり着けるようにしていくことが大切です。

生徒の「心」をつかむ課題設定を

英語の授業では、自分自身のことを話す学習課題を設定するなど、今回の研究授業では、各教科で生徒にとって必然性のある学習課題にしていく工夫が見られました。

生徒の心をつかみ、学ぶ必然性を意識させるには、単に生徒の興味のあるもの・身近なものを提示するというだけでは不十分なことがあります。そうした資料提示をしたうえで、今まで意識してこなかった「発見」をしたり、持っていた知識との「ずれ」に気づいたりすることでより学びたいという意欲が強くなります。また、今回の英語の授業を通して、人とは違い、個性のある「自分なり」の考えをもち、それを互いに表現しようという課題設定も、生徒にとって大きな学びの必然性を生むことがわかりました。

【村上指導主事】

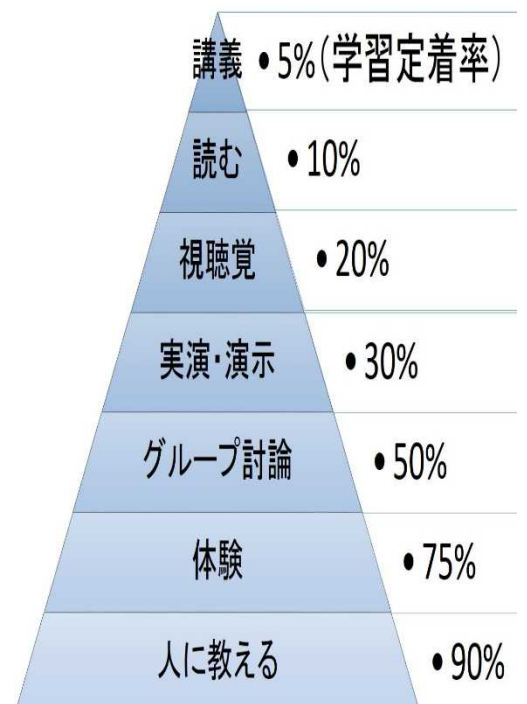
- ・繰り返し言語活動を行うことで、知識を活用し、定着できる。ラーニングピラミッドの視点を大切にし、知識・技能を「知っている」から「活用できる」レベルにしてほしい。

【才谷指導主事】

- ・「見方・考え方」を使うことで、それまで生徒にとって抽象的で説明できなかった事象が見える形にして表現し、理解を深めることができる。
- ・小学校で習ったことを思い起こさせる時間を大切に、学びにつながる実感をさせてほしい。

【小柳学校教育部長】

- ・協働学習を進めるにあたっては「個人思考」がいかに深くできるかが重要であり、そのための手立てが必要不可欠である。
- ・校内研究の組織化を図るために、これまでの学びを次回の授業者は意識し、積み上げていってほしい。



指導助言

より

成果		課題と改善策
必然性のある課題設定	・物質が金だと確かめることが必要な、具体的な状況設定をすることで生徒が学習課題に向かいやすくなった。	・課題に対して生徒の予想があれば、より課題解決に向けた主体性が引き出せる。
学びを深める協働学習	・見方・考え方を意識し、グループの意見を「比較したり、関連付けたり」する活動を行うことができた。	・ホワイトボードに書く情報が多かったため、比較・関連をしやすくするために、対象となる情報を焦点化できればよかった。

成果		課題と改善策
必然性のある課題設定	・自分の将来の夢(=自分自身に関わること)と結び付けてSpeakingすることで、生徒は意欲的になっていた。 ・AI化という社会の変化やキャリア教育との結びつきがあり、教科横断的な学びになっていた。	
学びを深める協働学習	・学びの基礎として、ペアで英語を使って話すという習慣として身につけている。 ・Speakingについて、話し方の例示→練習→自分のことを話すというように、スモールステップでねらいに迫れていた。 ・Writingについて、思考ツールを用いて文章の作り方を明確に例示していた。	・自分の考えを書く+英語を使うという複雑な課題だったため、1つずつ区切って行ったり、英語が苦手な生徒に対する支援を加えたりするとよかった。
学びをつなげる振り返り	うまく英語にできない生徒もいたが、あきらめるのではなく、「できるようになりたい」という意欲につながっていた。	

成果		課題と改善策
必然性のある課題設定	・コピー用紙に着目し、平方根を実生活に結び付けて考えさせることができた。	
学びを深める協働学習	・既習事項を生かし根拠として考察する内容になっていた。 ・用紙の実物を用いて長さを確認することで、理解が深まった。	・教師の説明<生徒の説明となるように時間設定できればよかった。 ・生徒が説明する際、スモールステップで、一つ一つの情報を整理し、つなげて、文章を作れるような手立てがあるとよかった。 ・生徒からでた、既習事項を応用した考え方を全体で共有し、深められるとよかった。

